

自己実現型こども育ち塾つきのうさぎ発達支援プログラム (児童発達支/放課後等デイサービス)		
法人ミッション	『人を育み、ともに未来をつくる』	
5 フォースを育む	①健やかな体を育てる力 ②人の気持ちを思いやり寄り添う力 ③創造して生み出す力 ④粘り強くチャレンジする力 ⑤問題を見つけ解決する力	
具体的な 5 領域	健康・生活	①身辺処理動作（食事、整容、更衣、入浴、排せつ）への助言・提案、②生活リズムに関する助言と提案、③家庭および園への活動と参加レベルの情報提供 (ICF国際機能分類、PEO（人-環境-作業）、トランザクショナルモデル等の作業療法理論を用いてお子さんを取り巻く全体像を捉えていきます)
	運動・感覚	①身体のイメージを高める活動の実施、②目の動きに関するトレーニング、③協調運動に対する助言・提案、④巧緻動作に対する動作指導、⑤感覚特性に配慮した環境調整 (SIT感覚統合療法、高次化理論等)
	認知・行動	①注意・集中力を高める活動および環境調整、②不器用さに対する運動指導および環境調整、③学習支援および環境調整 ④特性に基づいた行動変容プログラム (認知行動療法、ABA、TEACCHプログラム、CO-OPアプローチ等)
	言語・コミュニケーション	①口腔機能の調節、②構音に対するトレーニング、③言葉の表出に関するトレーニング、④視覚支援によるコミュニケーションの促進、⑤ゼスチャーによるコミュニケーションの促進、⑥吃音に対するトレーニング⑦ICT機器による環境調整 (言語療法、PECS・絵カード等を使った代替手段の検討)
	人間関係・社会性	①周囲の状況を観察し判断するトレーニング、②友達と適切な距離感で接するトレーニング (SST)
関係施設連携	園および学校生活、相談支援事業所等、お子さんの様子に関する情報共有を相互に行い、プログラムに反映していきます。	
家族支援	お子さんやご家族の現在や未来について、職員と共にじっくりとお話をしていきます。未来を見据えて、今大切なことは何か、ご家族でできることは何か、一緒に考えていきます。 (ペアレントトレーニング、オープンダイアログ等)	
社会参加	地域の文化、習慣に基づいた行事や活動に地域の一員として主体的に参加できるように環境調整を行っていきます。参加することでコミュニティへの帰属感を感じ、対象者自身の安心安全な日常生活活動が保障されます。(子どもと作業中心の実践OCPの考え方を基盤とする)	
担当スタッフ	保育士、幼稚園教諭、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、公認心理師などの専門職が個人またはチームで担当します。	